

4. 多摩ニュータウンを目指す 2040年代の都市像・生活像（案）

目指すべき再生の理念

<地域の活力の側面>

多様なイノベーションを創出し、世界に通じる新たな価値を生み続ける活力にみちたまち

<生活の側面>

ライフスタイルの多様化に柔軟に対応し、豊かな緑の中で安心して住み働くことができる持続可能なまち

都市像（2040年代）

緑豊かで高質な住環境のストックや、周辺地域と交流・連携しやすい立地を活かし、新たな価値を生み出す拠点の形成により、多様なイノベーションが創出され、生活を支える機能が集約された持続可能な都市を目指す。

（１）リニア中央新幹線や圏央道等の広域幹線道路により、多摩地域の中心的な拠点にふさわしい多様な機能を集積し、海外や日本各地との交流がより促進されている。

（２）高い技術力を持つ企業や、アジアや世界からの留学生が集まる大学・研究機関などの集積を活かし、新たなイノベーションが創出され、ものづくりと先端産業が融合した新たな産業や雇用が創出されている。また、広域交通ネットワークにより人、モノ・情報の交流が活発化し、多くの企業においてグローバルな事業展開が進められている。

（３）時代のニーズに合わせた土地利用に再編することで、立地適正化が促進され、職住近接の自立都市圏域が形成されている。また、歩行者専用道路、生活道路を用いて、多摩ニュータウン内の駅や主要施設間を多様なモビリティでつなぐことにより、介護・医療・保育等のサービスを楽しむまちが実現している。

（４）緑豊かで自然環境と調和した多摩ニュータウンの魅力を一層高めるため、技術革新に対応し低炭素社会の実現に向けたスマートエネルギー都市が形成されている。

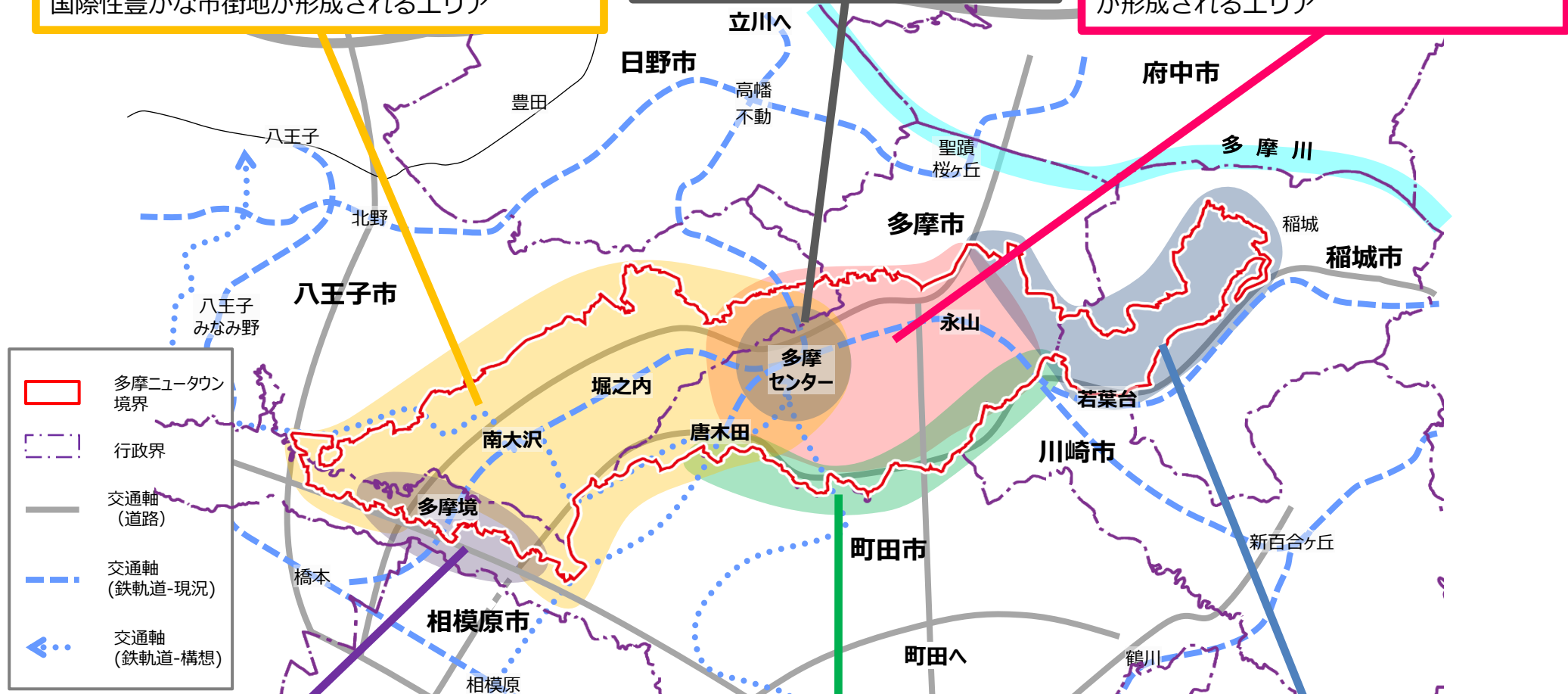
（５）良好な地盤と高質な都市基盤により建物倒壊や延焼の危険性が低く、地震などを起因とする大規模災害にも的確な対応がなされ、安全・安心な都市が形成されている。

都市像

リニア中央新幹線などによる国際空港等へのアクセス改善により、大学周辺に海外の技術者や留学生向けの居住施設などが確保されるとともに、駅周辺にはこれらにも対応した機能の集積を図り、国際性豊かな市街地が形成されるエリア

多摩ニュータウンの中心として、業務・商業・文化・アミューズメント機能が集積した拠点的形成されるエリア

多摩ニュータウン再生が重点的に促進され、時代のニーズに合わせた土地利用への再編により、駅周辺に複合的な機能が集積され、その周りに良好な住宅市街地が形成されるエリア



リニア中央新幹線神奈川県駅への至近な立地を活かし、駅周辺や道路沿道を中心に商業施設・先端企業が集積され海外や日本各地との交流が活発になっているエリア

南多摩尾根幹線道路沿道の土地利用転換などにより、利便性やゆとりある環境を求め移転してきた先端企業が集積されるエリア

駅周辺には身近な生活サービスを提供する商業機能が集積され、緑豊かで良好な住宅市街地が維持・形成されるエリア

生活像イメージ① アクティブシニア

豊かな緑と安心できる環境の下で、先端技術を活用し、まちづくりにより福祉施策などを支えることで、多様なライフスタイルやライフステージに応じて、誰もが住み・働き・憩うなど、充実した生活が可能となっている。

アクティブシニア イメージ

朝

- ・ 創出用地での家庭菜園
- ・ 見守り活動

- ・ 登校中の小学生



出典) 農林水産省HP

近所に住む小学生が登校するのを見守りながら家庭菜園で過ごす。

- ・ ボランティア活動

- ・ NPO職員等



出典) 練馬区社会福祉事業団HP

NPOとの高齢者等の外出支援活動に参加。歩道がバリアフリー対応されているので、高齢者や障がい者も容易に移動できる。

昼

- ・ 起業相談

- ・ 起業家、学生等



出典) UR HP

近隣センター跡を利用したコミュニティカフェで、隣のワーキングスペースで活動している起業家、学生等に、国際展開についてのアドバイスをする。

- ・ 自動運転車で移動

- ・ -----



出典) Google HP

出典) 東京都HP

シェアサイクルを借りようとしたが、デジタルサイネージに集中豪雨の予報が出ていたので、自動運転車で移動する。

夕

- ・ 保育園のお迎え
- ・ 里山でお散歩

- ・ 保育園に通う孫たち



出典) 東京都HP 小山内裏公園

孫たちのお迎えへ。駅前に保育ステーションがあるので、違う保育園に通っているが1か所で済む。帰りに公園内の里山で生き物を観察し、研究所から帰ってきた息子に引き渡す。

- ・ アートイベント

- ・ 大阪に住む友人



出典) アーツカウンシル東京 HP

今夜開催されるアートイベントを見るために、大阪の友人がリニア新幹線で多摩ニュータウンに来る。情報発信を積極的に行っているため、多摩ニュータウンの知名度が上がっている。

夜

活動

同行者等

生活像イメージ② 子育て世帯

共働き夫婦 イメージ

【夫】IT関係（在宅ワーク） 【妻】研究職 【子供】2歳保育園児、6歳小学生

朝

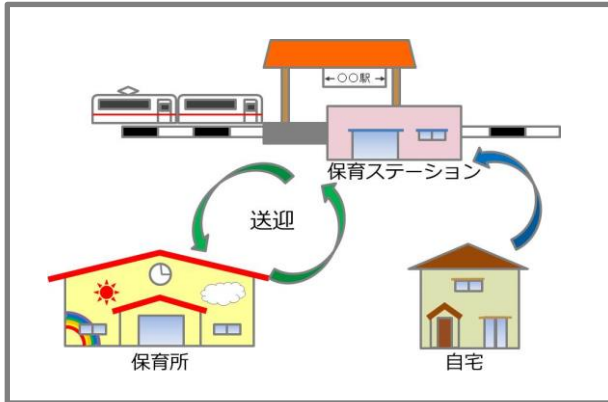
昼

夕

夜

夫

- 子供を保育ステーションに送る。



最寄駅の駅前にある保育ステーションへ子供を送る。

- 仮想オフィス上で打合せ。



出典) ソニーHP

仮想オフィスシステム上で打合わせ。テレワークを活用し、地方に移住する同僚も多い。

- 家庭菜園の収穫



出典：UR都市機構：AURA243 多摩平の森

下の子を迎えに行った後は家庭菜園の手入れを一緒にする。収穫した野菜は夕飯に使用。

妻

- 団地のアトリエで創作活動



出典) INO ARTIST VILLAGE HP
(井野アーティストヴィレッジ)

団地内商店街の空室を活用したアトリエで、新たな価値観を生み出す創作活動

- 多摩近隣の大学とミーティング



出典) INO ARTIST VILLAGE HP
(井野アーティストヴィレッジ)

近隣大学の学生と共同研究のミーティング

- 子供と勉強



出典：消費者庁イラスト集

上の子の宿題をみる。その日の授業内容や宿題はクラウド上で確認できる。

生活像イメージ③ (外国人居住者 研究者/留学生)

活動 同行者等

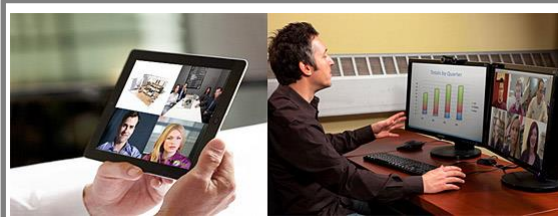
研究者 イメージ

人口知能の研究者。ニューヨークと東京を定期的に行き交う。

朝

・ ミーティング

・ ニューヨーク本社



出典) NTTビズリンクHP

朝7:00にニューヨーク本社の担当技術者から報告を受ける。人口知能の開発状況が遅れている。

昼

・ トレーニング

・ 留学生



Amazon Prime Air
出典) 経済産業省 HP

出典) UR HP

ランチャタイムに緑豊かな歩行者道ネットワークを使ってジョギング。飲み物を注文し、ドローンで公園まで運ぶ。ベンチで隣に座った留学生と会話。人口知能の研究をしているらしい。大学の連絡先を教えてください。

夜

・ パーティー

・ 経営者、研究者、ベンチャー企業の代表等



出典) 観光庁HP

出典) ハウステンボスHP

休日は自宅に友人たちを招いてホームパーティー。広々しているため、多くの人を呼ぶことができる。ウエイターはベンチャー企業で試作中のロボットが担当。他企業の代表と今後のビジネス展開について相談。

留学生 イメージ

アジアからの交換留学生。人口知能について研究。

・ 通学

・ -----

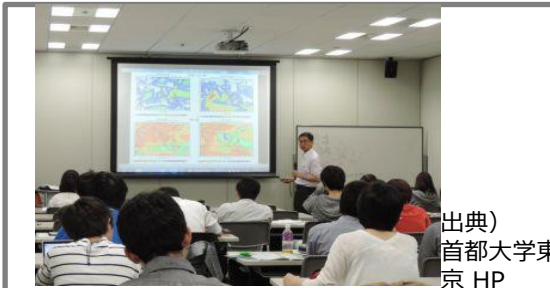


出典) 港区 HP

団地の一角にある留学生寮から自転車シェアリングの電動アシスト付き自転車で通学。坂があっても快適に移動し、市域をまたいで乗り捨てることができる。

・ 受講

・ 世界トップクラスの教授



出典) 首都大学東京 HP

世界トップクラスの教授による人工知能に関する講義を受ける。日本語による講義ではあるが、AIの発達により多言語間のコミュニケーションのハードルは低くなっている。

・ ボルダリング

・ クラスメート

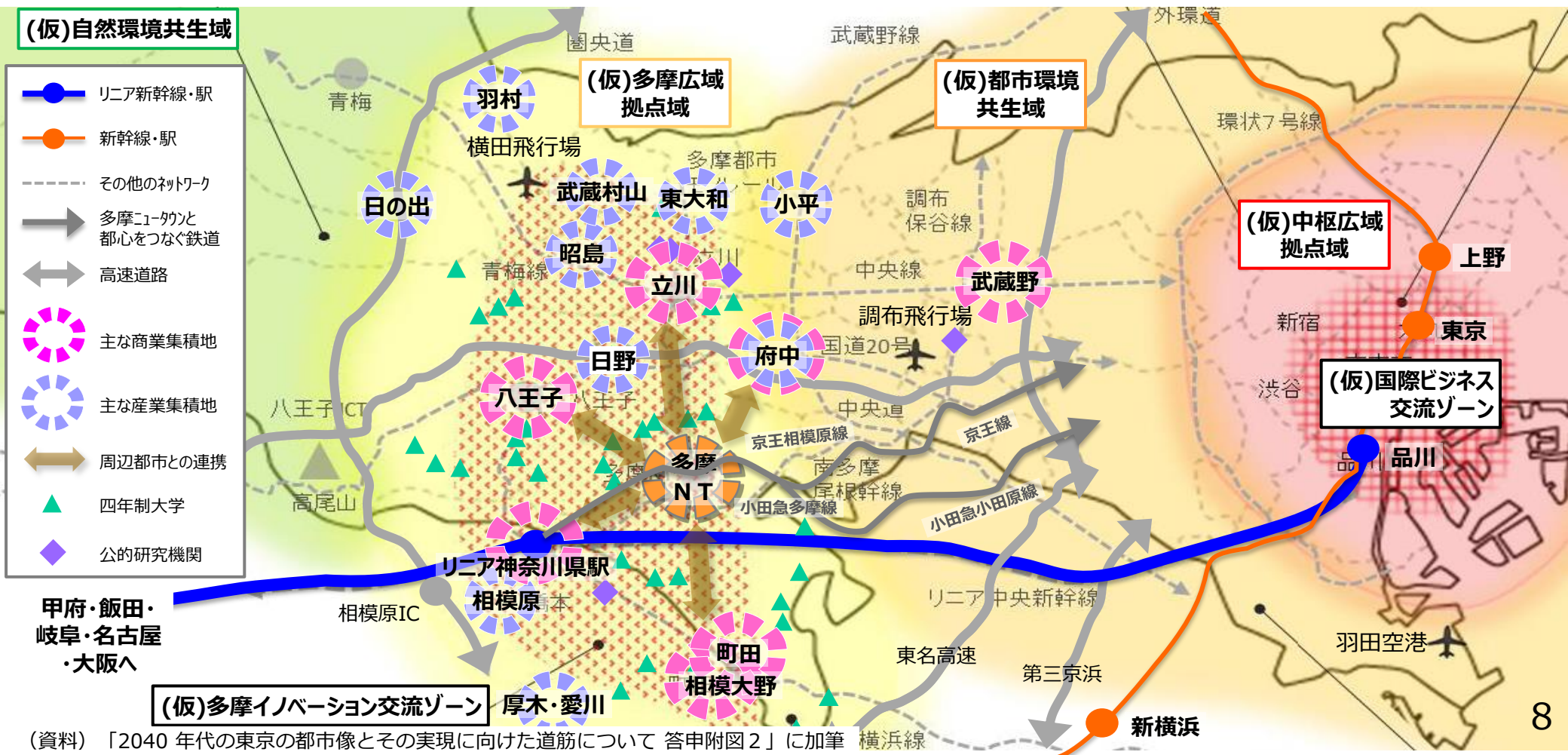


出典) 足立区ギャラクシティ HP

大学近くのスポーツ施設で留学生のクラスメートとともにボルダリングを楽しむ。

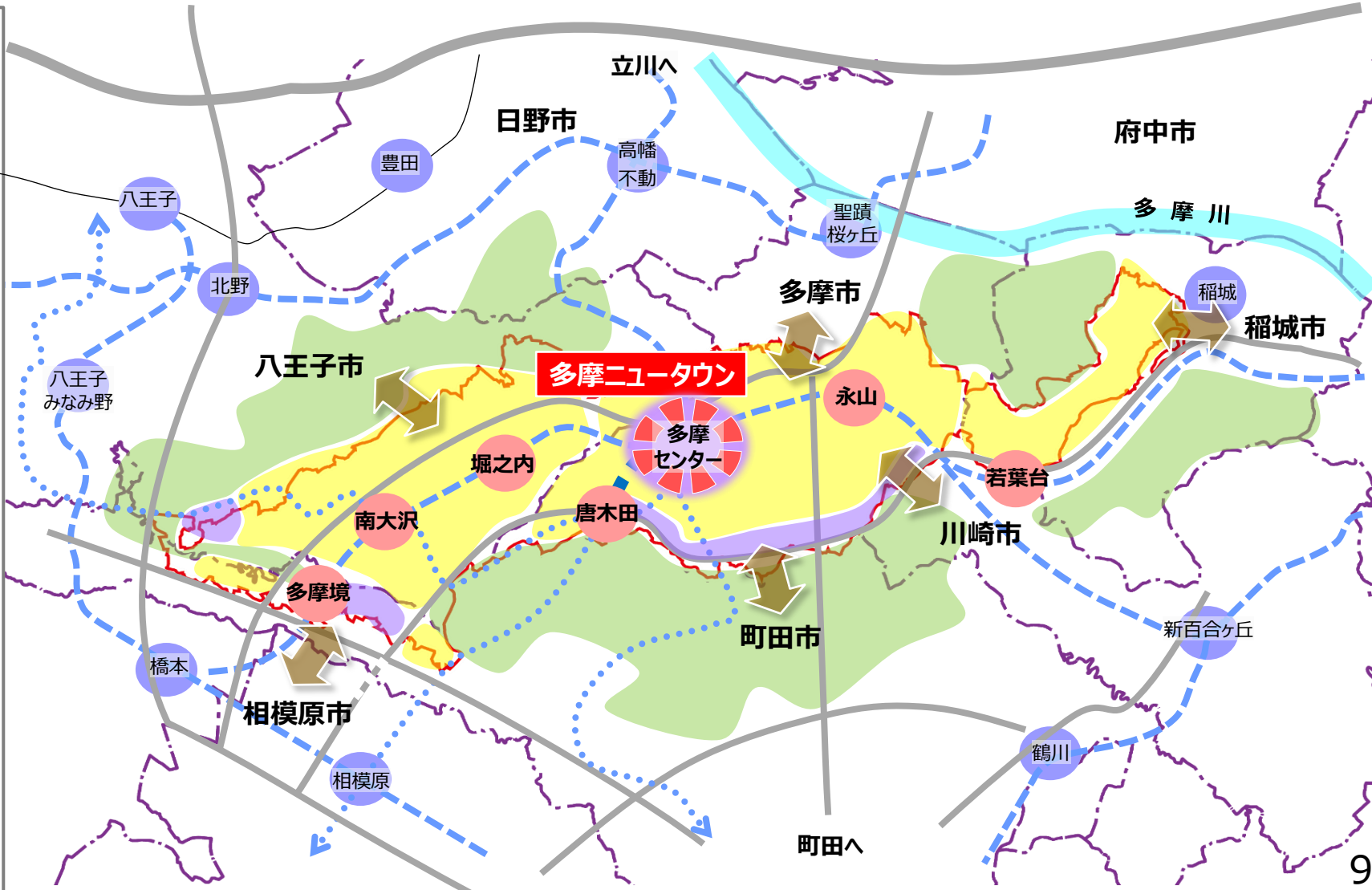
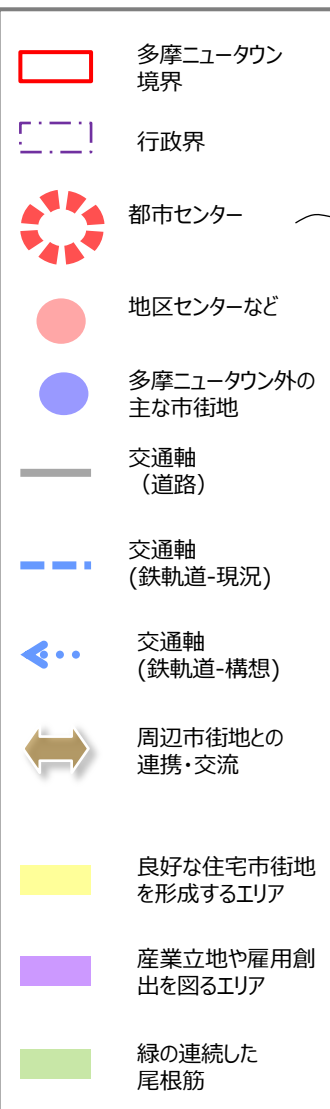
都市構造イメージ① 広域レベル

- ・リニア新幹線開業などに伴う国際空港アクセスの改善により、世界との人・モノの往来が短時間化されている。
- ・高速道路網の充実やリニア新幹線開業により、国内各地の生産拠点と人・モノ・情報の各面で緊密に連携している。
- ・多摩の南北方向の公共交通の充実により、各拠点間の円滑な移動が確保されている。
- ・改善した交通を背景に、大学を中心としたビジネスマッチング拠点が形成され、ベンチャー企業が集積している。



都市構造イメージ② 地域レベル

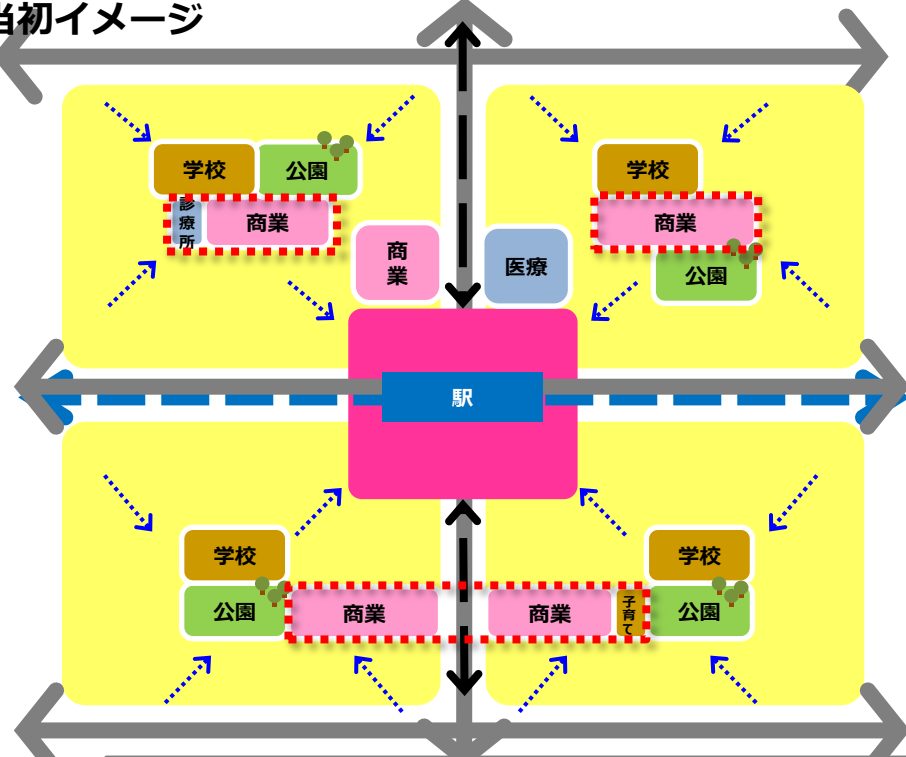
- ・多摩センターを中心とし、多摩ニュータウン内の各センター間の連携が緊密になっている。
- ・公共交通ネットワークの充実により、周辺市街地との連携・交流が活発化している。
- ・都県境を結ぶ道路ネットワークの形成により、橋本・相模原との交流が活発になっている。



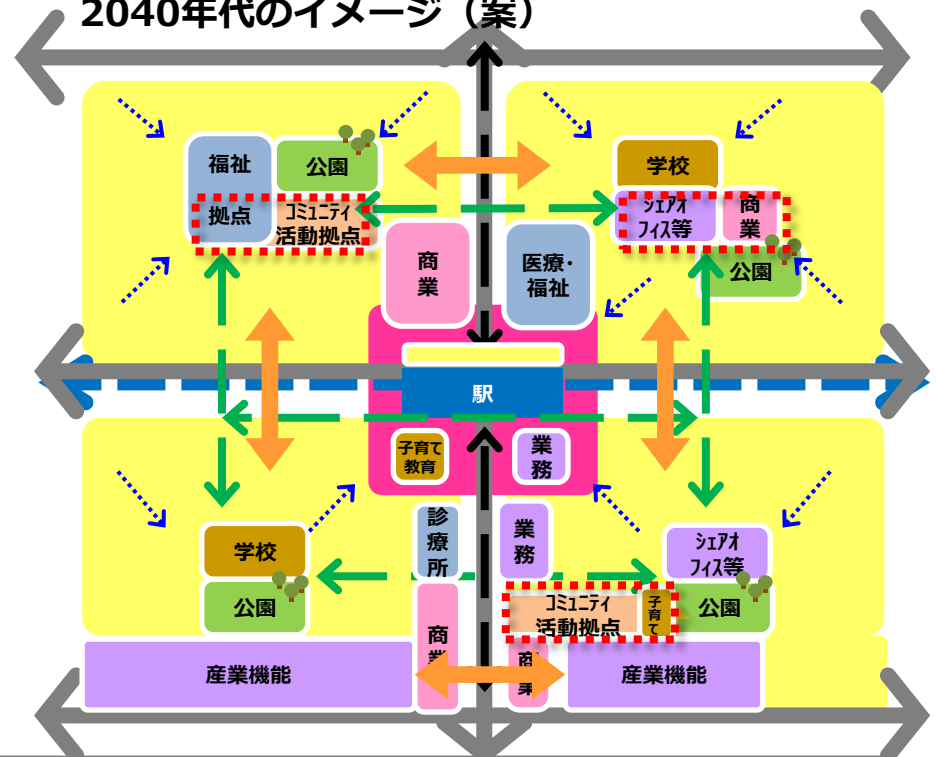
都市構造イメージ③ 地区レベル

- 地区センターや道路沿道に生活を支える機能の集積を図り、多様なモビリティによる移動の円滑化の基で、利便性の高い市街地が形成されている。
- 計画的に配置された地区センターなどを中心に、多摩ニュータウン独自の住み働きやすい集約型地域構造が形成されている。
- 1つの住区において、日常生活に必要な機能をフルセットで持つのではなく、地域の実情に応じて、複数の住区で必要な機能を補完し合う市街地が形成されている。
- 商業・医療など生活を支える機能は地区センターや道路沿道に立地し、近隣センターは福祉拠点やオフィスなど時代のニーズに即した機能に再生されている。
- 生活道路などを用いて、多摩ニュータウン内の駅や主要施設間を多様なモビリティでつなぐことにより、福祉、医療等のサービスを楽しむまちが実現されている。

当初イメージ



2040年代のイメージ (案)



	幹線道路		パーソナルモビリティ		住宅
	バス交通		活動の流れ		地区センター (駅前に商業・行政・業務施設等をまとめて配置したもの)
			連携・交流		近隣センター (1住区ごとに日常生活に必要な施設をまとめて配置したもの)